



未来のプロフェッショナル・デザイナー128人が応募 課題「流れ」に果敢にチャレンジ

～ 第6回産業技術大学院大学デザインコンテスト受賞者決定 ～

例えば、政府が進めるクールジャパン戦略。クリエイティブ産業の育成に取り組むこの戦略も、根底にあるのは「デザイン」の力ではないでしょうか。行き詰まりを見せる現代社会の中で、デザインの持つ力、新しいデザインの在り方が問われています。

産業技術大学院大学では、こうした新しいデザイン——感性と機能を統合した、創造的なものづくりやアイデア——を発掘すべく、「流れ」をテーマに創立以来第6回目となるデザインコンテストを実施いたしました。未来のプロフェッショナル・デザイナーを目指す学生から128点の応募があり、下記のとおり最優秀賞1点、佳作2点を決定しました。

表彰式は2月10日（日）に東京国際フォーラムで実施いたします。

受賞者及び作品名

■ 最優秀賞 [副賞30万円]

- 兪^ゆ 俊傑^{しゅんけつ}（九州大学大学院 研究生）、越野 透（九州大学大学院 修士2年）
作品名 「SMART LINE」 ～ヒトの流れを円滑にする横断歩道～

■ 佳 作 [副賞5万円]

- 齊藤 大（京都工芸繊維大学大学院 修士1年）
作品名 「Sticlock」 ～直観的に予定を把握できる時計～
- 松隈 祐紀（九州大学大学院 修士2年）
作品名 「せいくらべカメラ」 ～時の流れを記録するカメラ～

【受賞作品の詳細は別紙参照】

第6回デザインコンテスト表彰式

【開催日時】 平成25年2月10日（日） 15時00分～15時30分

【開催場所】 東京国際フォーラム ホールB5（千代田区丸の内3-5-1）

【PBL プロジェクト成果発表会 創造技術専攻発表会場】

※同時開催 「PBL プロジェクト成果発表会」（詳細は参考資料参照）

※取材を希望される場合には、2月8日（金）までに下記担当までご連絡ください。

【問合せ先】 産業技術大学院大学 管理部管理課
電話 03-3472-7834 Fax 03-3472-2790

別紙

第6回産業技術大学院大学デザインコンテスト受賞作品

○最優秀賞 ^ゆ 兪 ^{しゅんけつ} 俊傑（九州大学大学院 研究生）、越野 透（同 修士2年）

「SMART LINE」 ～ヒトの流れを円滑にする横断歩道～

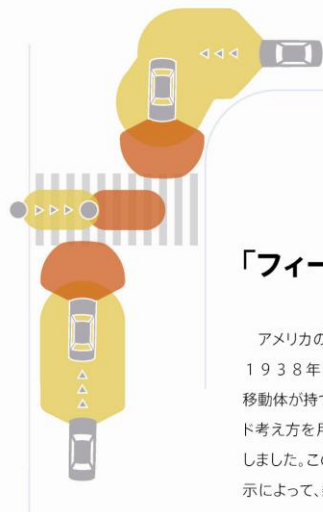
立体錯視によって、歩行者には車が通過してくることに注意を、車へは減速を喚起する横断歩道を提案している。

【受賞理由】

単純だが、デザインのもつ表現力を利用し、新しい人と車の流れに挑戦した意欲作。現在の制度では実現にはハードルがあるものの、実験的取組みや応用の可能性を評価し、最優秀賞とした。近年ヨーロッパ等での展開が始まっている、シェアード・スペース（人と車の共存をコンセプトにしたデザインの取組み）の概念にも通じる作品である。



行動観察からの横断歩道のデザイン



「フィールド分析」

アメリカの心理学者ギブソンが1938年に発表した論文より、移動体を持つ安全移動のフィールド考え方をを用いて、交差点を観察しました。このフィールドは路面標示によって、柔軟に変形します。左図は横断歩道進入前のフィールド（黄色）が適切に変化（赤色）している様子です。

「横断歩道の提案」

フィールド分析の手法を用いて発見した事実の解釈から、横断歩道を通過する運転者に対して減速を示唆する形状として、立体的な表現を探り、よりヒトの行動に沿ったパターンを検討しました。かつ、景観として過度な表現を避け、スマートな印象を探して、全体を環状にしました。

○佳作 1 齊藤 大 (京都工芸繊維大学大学院 修士1年)

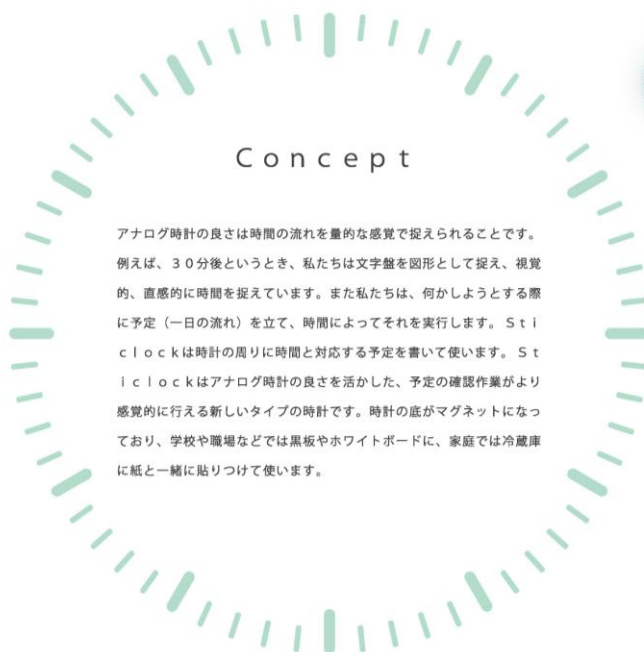
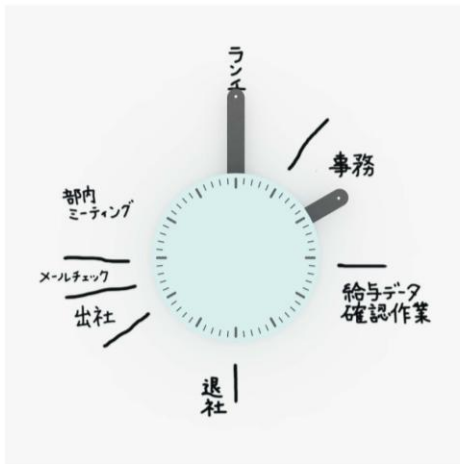
作品名 「Sticlock」 ～直観的に予定を把握できる時計～

アナログ時計の周りに予定を書き込んで用いる。時間の流れを量的な感覚で把握できるアナログ時計の利点を生かした作りになっている。

【受賞理由】

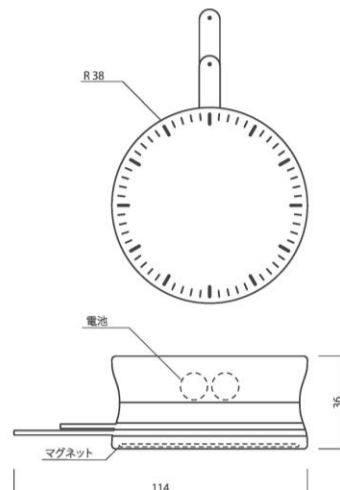
家族や学校、職場のメンバー等、複数の人でわいわいと自由に予定を書き込むことができる。通常の予定表とは異なり、みんなの行動をグラフのように俯瞰でき、行動を時の流れで把握するというデザイン発想を評価した。

Sticlock
新しい時計のカタチ



Concept

アナログ時計の良さは時間の流れを量的な感覚で捉えられることです。例えば、30分後というとき、私たちは文字盤を図形として捉え、視覚的、直感的に時間を捉えています。また私たちは、何かしようとする際に予定(一日の流れ)を立て、時間によってそれを実行します。Sticlockは時計の周りに時間と対応する予定を書いて使います。Sticlockはアナログ時計の良さを活かした、予定の確認作業がより感覚的に行える新しいタイプの時計です。時計の底がマグネットになっており、学校や職場などでは黒板やホワイトボードに、家庭では冷蔵庫に紙と一緒に貼りつけて使います。



〇佳 作 2

松隈 祐紀（九州大学大学院 修士2年）

作品名 「せいくらべカメラ」 ～時の流れを記録するカメラ～

定点撮影によって成長を記録するカメラ。画像を重ねて表示することで、成長過程を可視化することができる。

【受賞理由】

かつての、柱に刻み付けられた成長の痕跡は、この新しいカメラで画像に置き換えられ、時の流れとして記録される。毎日少しずつ成長する様子を撮りためた記録を10年分振り返るのは、とても楽しいに違いない。時間の流れをたくみにデザインした作品として評価した。



せいくらべカメラ

時の流れを記録する



concept

時の流れを記録するカメラ

定点撮影によって成長を記録するカメラです。画像を重ねて表示することで成長する様子を見ることができます。



定点撮影のためのカメラ
カメラユニットと、プレビュー画面を分け、カメラを壁に固定することで定点撮影が行えます。



持って行って見る
画面部分を取り外し、好きな場所に持って行ってプレビューを見ることができます。



パパやママとせいくらべ
おばあちゃんの家でパパやママの柱の備と比べるように、写真の中で背を比べることができます。

参考資料

第6回 デザインコンテストの概要

○ テーマ 「流れ」

流れること、流れるように連なって動くもの、思想や流行などを受け伝えること、など“流れ”には、多くの意味が含まれます。デザインをするうえで、“時代の流れ”、“人の流れ”、“モノの流れ”、“情報の流れ”などは重要なファクターと考えられています。

「流れ」というテーマをもとに、感性デザインと機能性デザインの知識を駆使して、これまでのプロダクトをリデザインする、あるいは、全く新しい観点や発想でデザインするなど、新しいコンセプトをもった創造的で合理的な、実現性の高いモノを提案してもらいました。

○ 応募資格

- ①産業デザインに関心のある全国の大学院・大学・短期大学・高等専門学校・専門学校で学んでいる学生
- ②APEN 加盟大学*が所在する国の高等教育機関に在籍する学生

*「APEN 加盟大学」

APEN (Asia Professional Education Network アジア高度専門職人材育成ネットワーク) は、大学(大学院)教育における高度産業人材開発方法として優れている PBL (Project Based Learning) 型教育を発展させ、かつアジアに普及することを目的として、産業技術大学院大学(学長 石島辰太郎)が主導して 2011 年 6 月に設立された国際組織です。

現在、加盟大学数は 11 校、加盟国は 11 か国となっています。

事務局は、産業技術大学院大学が務めています。

【同日開催】2013 産業技術大学院大学 PBL プロジェクト成果発表会について

IT 分野やイノベーションデザイン分野で、即戦力として活躍できる人材の育成を目指して取り入れている PBL 型教育の最終成果発表会として、毎年 1 回、学生がプレゼンテーション、パネル展示を行っています。

今回も、「ロボットを利用したバーチャルキャンパス体験サービス」、「脳波によって音楽体験を創造する製品&サービス『感性選曲』」など多彩なテーマが揃っています。9 時 30 分開場(18 時 15 分まで、入場無料・事前申込不要・入退場自由)ですので是非ご来場ください。詳細は、本学ホームページをご覧ください。(http://aiit.ac.jp/announce/pbl_exhibition.html)

本学の PBL 型教育

PBL (Project Based Learning) 型教育とは、実社会で即戦力として活躍できる人材を育成するために有効な教育手法であり、数名の学生が、明確な目標を掲げ、実際の業務の内容に近い 1 つのプロジェクトを完成させていくプロセスの中で、実社会で真に役立つスキルやノウハウを修得します。

本学の PBL 型教育には、

- ・実社会の活動に近い、1 年間を通した **大規模なプロジェクト**
- ・産業界の声を取り入れた **実社会を想定したテーマ設定**
- ・全国的にも珍しい **工学系の PBL** で、複数の教員がきめ細やかに学生を指導、評価
- ・ **さまざまな年齢、職業、職位、経験** を持つ学生がチームで協力、切磋琢磨しながら学修などの特徴があります。